

BUTSURYO SHINBUN

No. 29

発行所：大阪物療大学
発行者：田中 博司
発行年月：2025年8月
編集：広報委員会
※無断転載を禁じます。

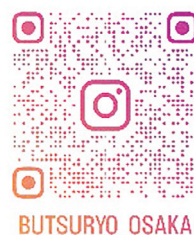


建学の精神

之科學為報國修

CONTENTS

- P1 – 学長挨拶
- P2 – 入学式
- P3 – 一泊研修
- P4 – オープンキャンパス 2025・第22回市民公開講座
- P5 – 1年次学内実習
- P6 – スポーツフェスティバル
- P7 – 2026年度入試概要・イベントご案内



Instagram



LINE

学長挨拶

message



皆様、こんにちは。学長の田中です。

連日、35℃を超える真夏日の中、定期試験の克服のため、

日夜猛勉強中の学生諸君、計画は順調に進んでいますか。

4月初めに学事暦を見て、ゴールデンウィークの短縮に驚いた事と思いますが、

そのおかげで試験前の準備期間日が与えられました。

再試を期待せず、本試験で無事合格できてこそ、

4年間で卒業できる十分な学力を身につけていって下さい。

そして夏休みを有効に活用して、楽しい大学生活の記憶に残る1ページに！

睡眠も充分、栄養も十分に。

————— 2025 盛夏



大阪物療大学

学 長 田 中 博 司

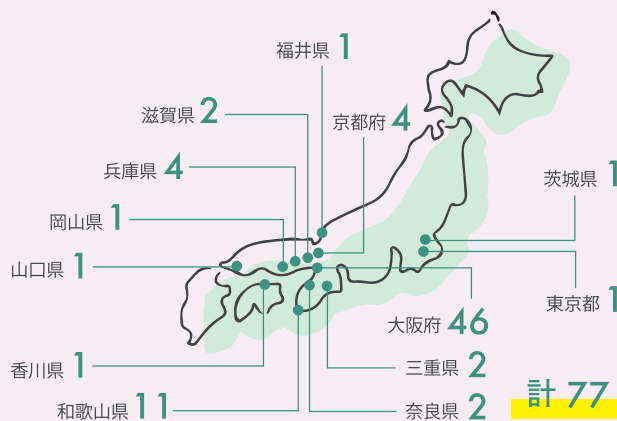
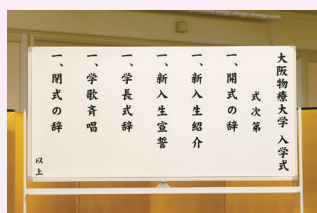


入学式



2025年度大阪物療大学入学式を4月1日(火)ホテル・アゴラリージョンシー大阪堺にて挙行し、新入生77名が本学の学生としての第一歩を踏み出しました。新しい門出を迎え、期待と不安が入り交じるような緊張した面持ちで入学式に臨んでいる新入生の姿は大変印象深いものでした。

式においては新入生代表による宣誓のあと、学長より、本学の「建学の精神」に込められた思いと素直な気持ちで教授を賜り、学友と切磋琢磨しながら一人前の医療人を目指してほしいとのメッセージが贈られました。新入生は、「医療人」としての輝く未来に向けて歩み出したことを実感されていると思います。今まで支えてくれたご家族に対して感謝の気持ちを忘れず、充実した大学生活をお送りください。



また、入学式後の大阪物療大学学生表彰式においては、優秀な成績等を修めた7名の在学生が表彰されました。さらに、保護者懇談会においては、教員との交流を通じて、一人ひとりに親身になって向き合い、サポートしていく本学ならではの雰囲気、保護者の皆様には感じていただけたのではないのでしょうか。

奨励賞授与式

奨励賞：特待奨学生に付与

特待奨学金制度：就学に熱意を持ち人物・成績ともに優秀で、他の学生の模範として、学業に取り組んでいる学生を対象に授業料（年額）の2分の1相当を給付する制度です。





ふれあいと自覚を育む第一歩

恒例の新入生 一泊研修



1日目



本年度では、毎年恒例となっている新入生一泊研修を、4月3日から4日にかけて、「ふれあい、自覚する」をテーマに大阪府立少年自然の家で実施しました。本研修は、初年次教育科目「物療科学ゼミナール」の一環として、文部科学省の初年次教育の指針に基づき、新入生が、大学生活を円滑に始められるよう、支援することを目的としています。

当日は、新入生75名、在学生ボランティア20名、教職員23名の計118名が参加しました（新入生2名は体調不良により欠席）。

今年は新たな試みとして、教員による趣味紹介などを交えた自己紹介が行われ、新入生からは「緊張がほぐれた」「心が和んだ」との声も多く聞かれました。また、スポーツを取り入れたアイスブレイクや、在学生による大学生活・臨床実習の紹介も行われ、学生同士のふれあいや、医療人としての自覚を育む機会となりました。夕食はバイキング形式で楽しみ、夜はキャンプファイヤーで親睦を深めました。

2日目はクラス単位で野外炊飯を行い、協力してカレー作りに挑戦。どの班もチームワークを発揮し、にぎやかな一時を過ごしました。とくに、美味しいカレーを作ったクラスとして学長表彰を受けたチームは、満足そうな笑顔を見せていました。

天候にも恵まれ、全日程を無事に終えることができました。ご協力いただいた教職員・在学生の皆様へ感謝申し上げます。

2日目



2025

open campus

診療放射線技術学科オープンキャンパス



本学では、3月から月に1回診療放射線技術学科のオープンキャンパスを開催し、多くの高校生と保護者が来場しました。専門性の高い学びを志す受験生にとって、放射線技術の現場に触れられる貴重な機会となりました。

当日は、CT装置やMR、超音波装置などを使った実習体験ブースが設けられ、参加者は機器操作にチャレンジ。VRによる一般撮影の疑似体験や



マンモグラフィ装置の体験では、最新の医療機器に触れる中で「具体的な話を親切に説明してもらえて分かりやすかった」と話す参加者の姿も見られました。

また、在学生との相談ブースでは、実際の授業内容や実習の感想、学生生活のリアルについて自由に話せる場が用意され、高校生からは「先輩たちの話を生で聞けて、とても安心できた」と好評でした。

入試相談ブースでは、個別に対応する形式で教員から詳しい説明が行われ、新たな入試制度や出願方法などについてじっくりと説明を聞かれました。

参加者からは「色々体験できて楽しく参加できた」「入試など知りたい情報を知れてよかった」「とても勉強になった」などの声が寄せられ、進路選択の一助となったことと思います。

今後のオープンキャンパスは8月にも開催予定。本学の専門性の高い教育を直接体験できる絶好の機会となることを期待します。



第22回市民公開講座

■2025年5月18日



2025年5月18日(土)、第22回市民公開講座が開催されました。今回は久しぶりに本学の教員3名が登壇し、「発がんのメカニズムと治療」をメインテーマに、それぞれの専門分野に関する講演を行いました。

第1席では、武田英里先生が「感染症と発がん」と題し、よく知られているウイルスとがん発生のメカニズムについて分かりやすく解説されました。

第2席の田中瑛先生は、「がんには負けないカラダづくり」と題して、がん予防に効果的な5つの健康習慣について説明されました。参加者の皆さまには、日常生活の中で身体活動時間を増やすことが健康につながることを実感していただけたのではないかと思います。

第3席では、大川浩平先生が「がんの放射線治療について」と題し、放射線治療の目的、がん細胞への分割照射、放射線技術の進歩、そしてがん治療はオーダーメイドであることなどについて、診療放射線技師の視点から詳しく講演されました。

参加された皆さまからは、「大変分かりやすい内容で、資料も立派だった」、「治療方法をもっと聞きたかった」といったご感想が寄せられ、放射線治療への関心の高さがうかがえました。

本学は診療放射線技師を育成する大学であり、本講座は、地域の皆さまに放射線治療の技術や粒子線治療の適応など、教育内容の一端をご紹介できる貴重な機会となりました。

1年次生の学内実習

新カリキュラム始動！

1年次生向け新科目 「診療放射線科学ゼミナール」について

2024年度より、本学では新たなカリキュラムとして「診療放射線科学ゼミナール」を開講しました。本科目は、診療放射線技師を目指す1年次生を対象に、基礎的な知識から実践的な体験までを盛り込んだ、全45コマの講義・演習で構成されています。

特徴1 1年次前期から装置に触れる 「Early Modalities Exposure」

従来は2年次後期に実施していた装置演習を、新カリキュラムでは1年次前期に前倒しで導入。早い段階から各種医療機器に触れることで、学習意欲の向上と医療現場への理解の深化を図ります。

特徴2 講義・実務経験講話・装置演習の三本柱

① 礎となる学識（講義）

放射線科学の基礎、医学概論、医療の歴史など、診療放射線技師としての土台をわかりやすく学びます。

② 教員による実務・研究経験の共有

臨床経験と研究実績を持つ教員が、自身の経験をもとに講義を展開。「診療放射線技師を目指した理由」「扱ってきた装置」「撮影の実際」などを語りながら、学生と双方向のコミュニケーションを大切にします。

③ 装置演習 (Early Modalities Exposure)

以下のような装置・技術に実際に触れ、医療現場の雰囲気を感じます。

- ・ MRI装置…画像の表示・解析体験
- ・ CT装置
- ・ マンモグラフィ装置
- ・ 超音波装置…技術進化の現場を体感
- ・ 一般撮影装置



・ VR (Virtual Reality) X線トレーニング

- ・ 仮想空間でのX線照射・撮影体験
- ・ スタンダードプリコーション体験
- ・ N95マスクの正しい装着法
- ・ 眼底検査の体験

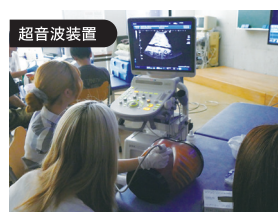
8つの装置演習をローテーション形式で体験し、幅広い医療機器と知識に触れます。

「実習」ではなく、 「気軽な「演習」スタイル

このゼミナールでは、白衣ではなく私服で参加。リラックスした雰囲気の中で装置に触れ、「実習」というよりも「体験型学習」として、医療技術の世界へ一歩を踏み出すきっかけを提供します。

最後に

1年次の早い段階で、診療放射線技師という職業のリアルに触れることができる、貴重な機会です。医療に興味を抱いたその瞬間を大切に、自分の進むべき道を見つけてください。





スポーツフェスティバル



4月24日、春のスポーツフェスティバルが金岡公園体育館にて開催されました。

競技種目は、バスケットボール、陣取りゲーム、借り人競争、リレーの4種目。クラス対抗戦として行われ、1年生から3年生までが混合でチームを編成し、学年を超えた交流と熱戦が繰り広げられました。

中でも、借り人競争には教員も参加し、会場は笑顔と歓声に包まれ、大いに盛り上がりました。

チームワークが光ったFクラスが見事優勝、Gクラスが準優勝を果たし、春のスポーツフェスティバルは大盛況のうちに幕を閉じました。

このスポーツフェスティバルは、学生自治会が中心となって企画・

運営した手作りのイベントです。授業の合間や放課後の時間を使って、競技種目の選定、ルール作成、進行プログラムの構成など、学生の手で準備してくれました。当日は、予定された全プログラムを無事に終えることができるよう、参加者みんなを統率してくれました。

全学生が一堂に会し、競技を通じて団結力や一体感を育むことができるこのような行事は、診療放射線技師を目指すという本学の共通の目標に向かう仲間同士の絆をより深める機会となりました。

企画・運営に携わった自治会の皆さん、そして当日の運営を支えてくださった学生課の職員の皆さん、本当にお疲れさまでした。



① 2026年度入試概要について

入試日程等一覧

入試区分	募集人数	条件	出願期間 (16時郵送必着)	試験日	試験会場	提出書類	試験内容			合否発表
							試験科目 (配点)	面接 (配点)	書類審査 (配点)	
総合型選抜	20	専願	9月8日(月) ～ 9月19日(金)	9月23日 (火・祝)	本学	①志望理由書 ②調査書 ③願書	小論文 ※文章の要約 (50点・60分)	グループ ディスカッション ※5～6人 (50点・15分程度)	資格・課外活動 (加算方式)	9月26日 (金)
学校推薦型選抜	前期 20	専願	10月27日(月) ～ 11月6日(木)	11月9日 (日)	本学	①推薦書 ②調査書 ③願書	※基礎学力検査 「数学I」「生物」 いずれか1科目選択 (100点・60分)	グループ面接	—	11月12日 (水)
	後期 10	専願	12月1日(月) ～ 12月11日(木)	12月14日 (日)	本学					12月17日 (水)
一般選抜	前期 20	併願	1月6日(火) ～ 1月22日(木)	1月25日 (日)	本学 名古屋	①調査書 ②願書	※基礎的な問題 「数学I」「生物」 いずれか1科目選択 (100点・60分)	グループ面接	—	1月28日 (水)
	中期 10	併願	2月2日(月) ～ 2月12日(木)	2月15日 (日)	本学					2月18日 (水)
	後期 若干名	併願	2月24日(火) ～ 3月5日(木)	3月8日 (日)	本学		小論文 (100点・60分)	個人面接	—	3月9日 (月)
社会人選抜	若干名	専願			本学					

※募集人員は予定。※2026年度入学試験では大学入学共通テスト利用入学試験は行いません。

入試対策講座日程

学校推薦型選抜対策講座	10月4日(土) 10:00～12:00(受付開始9:30)	本学1号館	①模擬試験30分 ②解説60分	「数学I」「生物」 いずれか1科目選択
一般選抜対策講座	11月29日(土) 10:00～12:00(受付開始9:30)	本学1号館	①模擬試験30分 ②解説60分	「数学I」「生物」 いずれか1科目選択

※10月4日(土) オープンキャンパス同日開催



大阪物療大学 第23回 市民公開講座

人生を楽しむ3つのポイント

きょういく、きょうよう、肺炎予防

(予定)

〈まっしゅ! トータルSTサポート代表〉言語聴覚士/水野 貴志 先生

日時 2025年10月18日(土)

10時30分～12時00分(受付開始:10時00分)

場所 大阪物療大学 4号館アリーナ

〒593-8329 大阪府堺市西区下田町 23-1

スケジュール(予定)

10:00 受付開始

10:30 開講、学長挨拶

10:35 講演(70分)

11:45 質疑応答(15分)

12:00 閉講



お問い合わせ先

大阪物療大学 入試課

Mail / kouhou@butsuryo.ac.jp TEL / 072-260-0095